



7月

ほけんだより

平成29年7月1日

みなみひの保育園



梅雨らしいじめじめとした天気が多くなってきました。いよいよ子どもたちが楽しみにしている水・プール遊びが始まります。体調に気をつけていきましょう。

プールOK? チェックリスト

子どもたちの大好きなプール。
元気に楽しくあそべるよう、

□熱は何度ですか？

37.5℃以上が、プールに入れない目安ですが、平熱は子どもによって違うので、ふだんの平熱を考慮して判断します。

□食欲はありますか？

□お腹の具合は大丈夫ですか？

お腹が痛い、便がゆるい、下痢をしていませんか？

□前日、よく眠れましたか？

□目やにや充血はありませんか？

朝だけの目やにには心配ないことが多いのですが、昼間も目やにや充血が見られるようなら、結膜炎のおそれもあります。

□せき・鼻水は出ていませんか？

食欲がない、発熱などの全身症状がなければ、基本的には心配ありません。

□皮膚に異常はありませんか？

傷やただれがあって乾燥していない場合は、プールは避けたほうが良いでしょう。

毎日プールカードの記入を忘れずに。

少しでも心配な点がある場合は、
直接保育者にご相談ください。



水いぼ Q&A

Q.水いぼって何？

A.伝染性軟属腫ウイルスが原因でできる粟粒大のいぼで、おなかやひじ、わきの下などにできて広がります。

Q.登園やプールは？

A.必ず医師の診察を受けて、医師の指示に従ってください。二次感染（水いぼが全身に渡っている場合、化膿している場合など）のある場合はプールは中止し水遊びとします。水いぼ治療中はラッシュガード（水の中で着るシャツのようなもの）などを着用して直接お友だちと肌の触れる事がないようにしてください。

Q.うつるの？

A.いぼがつぶれて中の液が付くとうつります。体の接触、タオルなどの共有でうつりやすいので注意が必要です。

Q.どうやって治すの？

A.そのままでも半年から1年半ほどで治ります。アレルギー性皮膚炎の子や、かゆくてかきこわしてしまうような場合は医師に相談のうえ、治療を。

尿検査(3・4・5歳児対象)のご協力ありがとうございました

溶連菌感染症

原因

A群溶血性連鎖球菌という細菌が原因となる病気の総称。飛沫で感染する。

症状

高熱が出ることもあり、のどのはれ、おう吐、頭痛などの症状が現れる。首のリンパ節がはれたり、筋肉痛や中耳炎を起こすことも。その後全身に小さな発しんが出たり、舌に白いこけ状のものがつき、3日くらいすると赤くブツブツしてくる(イチゴ舌)。発しんや舌のブツブツが出ず、のどが痛いだけのときもある。

対応

抗生物質で治療する。症状が治まったからといって独断で薬をやめたりしないこと。

とびひの増える季節です

とびひは、夏の汗れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水ぼうがでできます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。

家庭での手当て

- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う
- 赤みでは濡れにつけず、シャワーで洗い流して清潔を保つ
- 濡上りはこすらずふき取り、薬を塗る



主な症状

- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

皮膚が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたら、ガーゼで覆いましょう

